

科目名	精神看護学演習ⅡB Psychiatric and Mental Health Nursing Seminar ⅡB		担当教員 (研究室番号)	木戸 芳史 (402) 前川 早苗 (広域分野) 奥野 史子 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	3(90)	授業 形態	演習	科目等 履修生	可
科目 目的	精神保健看護の場における個人および集団が抱える複雑で困難な問題に対して、理論および研究成果を活用して看護援助法を 開発する能力を修得する。											
到達 目標	1)個人および集団が抱える複雑で困難な問題に対してエビデンスに基づいた看護援助を展開することができる。 2)個人および集団が抱える複雑で困難な問題に対して、理論および研究成果を活用して新たな看護援助法を開発することが できる。											
成績評価方法 (基準)	①レポート(30%)②演習内容及びディスカッションへの参加(70%)											
教科書	随時紹介する。											
参考書等	随時紹介する。											
受講者への メッセージ	積極的にディスカッションに参加してください。											
備考												
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法			
1回	オリエンテーション 学習内容と課題・目標の設定			・授業目標、授業日程、学習課題を確認する。 ・臨床場面での演習計画の立案について、確認する。				木戸 他	演習			
2回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討①			・複雑で困難な問題を抱える統合失調症患者への看護援助につ いて理論とエビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を検 討する。				木戸 他	演習			
3回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討①			・複雑で困難な問題を抱える統合失調症患者への看護援助につ いて理論とエビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を検 討する。				木戸 他	演習			
4回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討②			・複雑で困難な問題を抱える気分障害患者への看護援助につ いて理論とエビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を検 討する。				木戸 他	演習			
5回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討②			・複雑で困難な問題を抱える気分障害患者への看護援助につ いて理論とエビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を検 討する。				木戸 他	演習			
6回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討③			・複雑で困難な問題を抱える適応障害、不安障害、身体表現性 障害、摂食障害患者への看護援助について理論とエビデンスを 活用し、事例に適した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
7回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討③			・複雑で困難な問題を抱える適応障害、不安障害、身体表現性 障害、摂食障害患者への看護援助について理論とエビデンスを 活用し、事例に適した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
8回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討④			・複雑で困難な問題を抱える物質関連障害患者への看護援助に ついて理論とエビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を 検討する。				木戸 他	演習			
9回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討④			・複雑で困難な問題を抱える物質関連障害患者への看護援助に ついて理論とエビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を 検討する。				木戸 他	演習			
10回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討⑤			・複雑で困難な問題を抱えるパーソナリティ障害、発達障害患 者への看護援助について理論とエビデンスを活用し、事例に適 した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
11回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討⑤			・複雑で困難な問題を抱えるパーソナリティ障害、発達障害患 者への看護援助について理論とエビデンスを活用し、事例に適 した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
12回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討⑥			・身体合併症をもつ精神障害者への看護援助について理論とエ ビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
13回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討⑥			・身体合併症をもつ精神障害者への看護援助について理論とエ ビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
14回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討⑦			・自傷・自殺のリスクの高い患者への看護援助について理論と エビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
15回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討⑦			・自傷・自殺のリスクの高い患者への看護援助について理論と エビデンスを活用し、事例に適した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
16回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討⑧			・暴力のリスクが高い患者への看護援助について理論とエビデ ンスを活用し、事例に適した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
17回	複雑で困難な問題を抱えた患者と家族の 事例検討⑧			・暴力のリスクが高い患者への看護援助について理論とエビデ ンスを活用し、事例に適した看護援助法を検討する。				木戸 他	演習			
18回	精神保健看護の場でのフィールドワーク ①			・精神保健看護の場(フィールド)で参加観察を行い、個人お よび集団が抱える複雑で困難な問題を特定し、理論および研究 成果(エビデンス)を用いて状況の分析を行う。				木戸 他	演習			

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
44回	まとめ	<ul style="list-style-type: none">・科目を通した学びを発表し、到達目標に対する自己評価を行う・今後の自らの課題について、ディスカッションする	木戸 他	演習
45回	まとめ	<ul style="list-style-type: none">・科目を通した学びを発表し、到達目標に対する自己評価を行う・今後の自らの課題について、ディスカッションする	木戸 他	演習